



特定非営利活動法人 富山県防災士会 会報

（NPO法人日本防災士会・富山県支部）

第36号
令和5年7月1日
発行 富山県防災士会
連絡先 090-3760-3702
（事務局長：上田）

令和5年度 通常総会開催 吉澤理事長の新体制がスタート ～防災協働社会実現を目指して～

日頃からNPO法人富山県 防災士会の活動に深いご理解と多大なご支援を賜り、誠にありがとうございます。



（吉澤 実 新理事長）

佐伯前理事長に代わりまして、令和5年度から理事長を務めさせていただく吉澤 実でございます。さて、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取り扱いが2類相当から5類に変更となり、社会活動が活発化し、これまでの閉塞感が緩和されているように感じています。

本会の令和5年度通常総会も5月20日に4年ぶりに開催されたところであり、今後の活動への力強い一歩を踏み出しました。

富山県防災士会は、平時には地域防災力の向上、災害時には支援活動に取り組む防災士や防災士の活動に賛同する一般市民への支援を通じて、安全で安心な社会の実現に寄与することを目的としています。

この目的達成のために、行政・関係機関と一層密接な連携を図りながら、「住民の自助・共助の推進に向けた防災意識啓発活動を継続することにより策定する地区防災計画」の策定について支援することに特に重点を置きたいと考えています。併せて、これまで同様、地域防災活動のリーダーにふさわしい防災知識・技能の研鑽に励むとともに、学校教育における防災・減災支援事業の実施や防災・減災のために活動する団体への防災講座・防災講演会等の実施による支援事業を行ってまいります。

今日まで、多くの会員の皆様や関係機関のご尽力に支えられてきたことに深く感謝申し上げ、引き続き、本会の目指す防災協働社会づくりが達成できますよう、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

通常総会議事の概要

5月20日、婦中ふれあい館において開催した通常総会では、予想を超える出席者で会場がほぼ満席になる状況の中、総会成立（会員数362名、会場出席者数72名、書面評決125名、委任状55名の合計252名）報告の後、議長に若宮宏明氏を選出して議事が進められ、第1号議案から第5号議案まで、満場一致で承認された。



（通常総会の会場風景）

（議事での主な質問項目は以下のとおり）

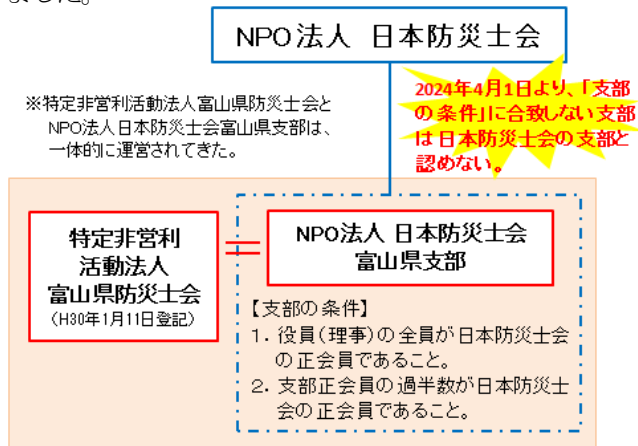
- 1 日本防災士会の会費を助成金の方だけ減額できないか。
- 2 自主防災組織への活動支援・協力金の内容は何か。
- 3 富山県から助成金を受け取ることはできないか。
- 4 NPO法人の会計制度について教えてほしい。
- 5 防災士の活動にボランティア保険をかけているのか。
- 6 県内の大規模災害発生時に備え、積立金の検討を願う。
- 7 女性防災士の集いに男性が参加しても良いのではないかな。
- 8 富山県防災士会の会員数をもっと増やすべきではないかな。

富山県防災士会と日本防災士会富山県支部の在り方について執行部から提案

会員の皆様には、総会議案書とともに郵送しましたが、『「富山県防災士会」と「日本防災士会富山県支部」の在り方について』という1枚の資料をご覧になったと思います。

今年度の総会では、議事終了後に事務局から説明があり、今後、理事会で検討を進めながら、広報紙を通じて進捗をお知らせすることになっています。

改めて資料に記載した内容の課題部分を関係図で示してみました。



【対応案として示された3項目】

- ① 富山県支部の会員資格を正会員（日本防災士会会員）と賛助会員（同上非会員）に分ける。
⇒ 賛助会員の議決権が無くなる。
- ② 日本防災士会富山県支部とNPO法人富山県防災士会を分離する。（日本防災士会への入会は自由）
⇒ 会計別、総会別など事務手続きの負担増。
- ③ 富山県支部を日本防災士会に返上し、NPO法人富山県防災士会を単独とする。（日本防災士会への入会は自由）
⇒ 他支部との交流、全国的な連携が無くなる恐れ。

対応案に示された運営の方向性やデメリットは、現在予想できる内容の一部分です。基本的には、会員の皆様が防災士として、能力向上のための講習会、研修会への参加や地域の中で防災士として活動されることへの影響が無いよう今後の理事会で選択肢の検討を進めます。次号の広報紙でも検討内容をご紹介しますので宜しくお願いします。

防災士 宝田 茂義（富山市）

会 員
自己紹介

私は富山市
婦中町鵜坂
地区で自治振

興会そして町内会の自主防災活動に参加しています。私と防災活動との関わりは、平成 19 年に町内で自主防災会を設立する動きに誘われたことが始まりです。



平成 16 年 10 月の台風によって、私の町内でも一部床下浸水の被害がでました。当時、私も深夜に避難を呼びかける消防車に起こされて、鵜坂小学校に避難した経験がありました。避難する時、住宅街の外に広がる田んぼが湖のようになり、その水面に近くのコビニの建物を逆さに映し出している光景は、今も鮮明に脳裏に残っています。

平成 24 年に防災士の資格を取得し、富山県防災士会へ入会したことで、地域の防災力強化にも積極的にかかわるようになります。令和元年の千曲川の洪水被害をきっかけに神通川でも起きるかもしれないといった危機感が自治振興会内部で高まり、地区防災計画の策定へと動きだします。

私は計画の原案段階から関わり、地域の皆さんを対象とした講演会、DIGやHUGにもけん引役として活動しました。現在、公的避難所となる鵜坂小学校にも防災資機材を配備し、避難者 300 人で 1.5 日分の食料をローリングストック方式で配備する体制が整いつつあります。これから地区防災計画を常に見直し、減災の一助となるよう活動を展開して行きたいと考えています。

日本防災士会の総会で小杉氏が監査報告

令和 5 年 6 月 17 日、星陵会館ホールにおいて日本防災士会通常総会が開催され、富山県防災士会元理事長の小杉邦夫氏が、監事を代表して監査報告をされました。

会場には、佐伯前理事長、吉澤新理事長も出席して、監査報告を傾聴しました。

報告の一部を紹介すると、事務局員の常駐体制を取っていないながら就業規則や給与規定が



（壇上で監査報告をする小杉邦夫氏）

ないこと。また、総会の決議を要しない業務執行のうち重要な議決に理事会が関わっていないこと。さらにアルバイトを含めた事務局 3 名体制で膨大な事務処理を担っており、激務の状況にあること等、7 項目の課題、問題が提起されました。

そして課題のそれぞれに対する今後の改善要望が具体的に示されました。日本防災士会の監事として、組織の行く末を案じながら職責を全うされたお姿に敬意を表するとともにご労苦をねぎらいたいと思います。小杉様お疲れ様でした。

林 茂 様が富山県防災士会へ多額のご寄付
（林建設の私募債を活用）

令和 5 年 4 月 19 日、林建設社長の林茂様より富山県防災士会へ多額のご寄付を頂きました。林茂様ご自身も弊会の会員であり、本紙 32 号では「小型車両系建設機械運転資格」の情報を頂いて、紹介記事を掲載しました。その林様から今度は、ご寄付の申し出があり、佐伯理事長が贈呈式に臨まれました。



（林社長（中央）から佐伯理事長（右）へ贈呈）

私募債とは、一定の高い適債基準を満たした優良企業が、その信用力を背景に発行するもので、林建設が令和 5 年 3 月 24 日に発行した「富山銀行SDGs私募債（富山銀行 保証付）」の富山銀行が発行企業から受け取る手数料の一部を利用し、地域の教育機関等に図書や備品、スポーツ用品等を寄付する取り組みです。

令和 5 年 各地の総合防災訓練計画の概要

No.	主催地	開催日時	開催場所
1	富山県	8月27日(日)	高岡市テクドーム 詳細未定
2	富山市	10月1日(日) 8:30~11:30	水橋 旧上桑小学校 詳細未定
3	小矢部市	9月24日(日) 8:30~11:30	水島運動広場及び周辺施設 詳細未定
4	砺波市	9月24日(日) 8:30~12:00	砺波市体育センター (砺波市役所、出町中学校、出町小学校他)
5	射水市	10月29日(日)	七味コミュニティセンター
6	南砺市	10月29日(日) 9:00~11:30	南砺市立福野小学校 詳細未定
7	氷見市	9月3日(日) 8:30~12:00	稲穂公民館(要配慮者避難支援訓練) 詳細未定
8	高岡市	8月27日(日) 8:00~11:00	高岡市芳野中学校下 (野村小学校、下関小学校、二塚小学校)
9	朝日町	8月27日(日)	会場はサンリーナ(詳細未定)
10	入善町	予定なし	隔年実施のため、今年度は無し
11	黒部市	8月20日(日)	折立、愛本地区 合同で実施(詳細未定) メイン会場 旧宇奈月中学校
12	魚津市	9月24日(日)	布施川周辺での大雨や地震による土砂災害 メイン会場 西布施公民館、サテライトあり
13	滑川市	8月20日(日)	午前中開催 詳細未定
14	上市町	未定	詳細未定
15	立山町	11月11日(土)	立山町役場・立山町立高野小学校
16	舟橋村	予定なし	総合防災訓練は4年に1度。今年は無し。

※上記は 6 月末迄の集約情報です。訓練視察や参加を希望される方は富山県防災士会事務局へお問い合わせ願います。

富山県防災士会 広報部では、皆様の活動情報をお待ちしています。連絡先：090-3760-3702（上田）